

国会初登院



九月二十一日、特別国会の開会にあたり初登院しました。国会正面玄関前に着いたのが、九時頃。すごい数の報道陣にびつくりしました。私も、数社から取材を受けたものの、注目の新人議員さんの周りには人だかり。バッジを付けて頂く際には、緊張すると同時に議員になれたんだという実感がわいてきました。

午後一時からは、初の本会議。主な議案は、正副議長の選任と首班指名でした。初めて登壇し、一票を投じるときに身の引き締まる思いがしました。この初心を忘れることなく、佐賀二区の方々の代表であるという自信と誇りを持って、様々な議案を判断していきたいと思っています。

※ホームページ(www.takamaro.jp)の「たかまろTV」コーナーに初登院の様子をアップしています。是非ご覧ください。

本会議場



議場白席より見る議長席

議場白席
・名前が書かれた札は出席した席に立てる
・賛成票(白色)反対票(青色)がそえつけられている

本会議は、議員全員の会議です。本会議は総議員の三分の二以上の出席が必要で、議事は特別の場合を除いて出席議員の過半数の賛成で決められます。本会議は、通常、衆議院では火曜・木曜・金曜日の午後一時、参議院では月曜・水曜・金曜日の午前十時から開かれます。

席は、期数を経るごとに後ろに行きます。同期の場合は原則年齢順。私の席は最前列で、議長に向かって左から八番目。新人議員として若い方から八番目だか

らです。

採決には、議長が「御異議ありませんか」とはかる方法、賛成者の起立を求める方法、記名投票による方法があります。記名投票では、賛成の議員が白票を、反対の議員が青票を投票箱に入れます。なお、内閣総理大臣の指名も記名投票で行われますが、この記名投票は、議場に配付された投票用紙を用い、選ぼうとする人の氏名と投票者自身の氏名を記載して投票することになっています。

福岡たかまろを囲む女性の集い

十一月六日、福岡たかまろを囲む女性の集いを開催。約百四十名もの方々にお越し頂き、国政報告をさせて頂きました。ゲストとして、神奈川九区選出の山内康一代議士にもお越し頂きました。山内代議士は会の数日前まで、与党の派遣団としてパキスタン地震の被災地の視察と支援に赴かれていました。現地の状況の報告や、以前JICAに勤務されていた経験を踏まえて国際貢献について話して頂きました。

山内代議士は、私と同年生まれ。今後も良き仲間として、切磋琢磨していきたいと思っています。



山内代議士の講演の様子

国会初質問

十月二十一日、国会で初質問に立ちました。衆議院の厚生労働委員会、障害者自立支援法案についての質疑。私は、3番目の質問者として質問をさせて頂きました。

この法案については、いろいろな反対のご意見も承りましたが、精神障害者も含めたサービスの提供や、財源を明確化して持続可能な制度とする観点から、与党は賛成の立場で望みました。しかしながら、不明確な部分もあり、多くの不安の声も寄せられていることから、政省令など細部にわたるまでしっかりと見ていきたいと思えます。

①PRについて、②円滑な施行に向

けての取り組み、③行動援護のサービス充実策、④行動援護の適用を受ける人が少なく、基準が厳しすぎるのでは、⑤行動援護の見直し方針について、⑥小規模作業所の道筋について、⑦就労支援について施策の展開や組み合わせ、⑧実雇用率向上のための取り組み、などについて質問をさせて頂きました。

議会での初質問。それほど緊張しませんでした。若干早口だったとの指摘も。答弁まで含めた時間が決まっているので、予定していた質問を全てしたいとの心理が働いたのでしょうが、指摘も踏まえ次回以降はゆっくりと話すことを心がけたいと思えます。



質問風景

佐賀の新人議員大いに語る

十一月十三日、CSO公共政策評価ネットワークが主催するシンポジウム「どうする? どうなる? 政治と財政 佐賀の新人議員大いに語る!」にパネリストとして参加しました。国会議員になつて何をしたいか、私の政府論、憲法改正についての考え、財政再建に向けての考え方、地域経済振興策などについて意見を述べさせて頂きました。

大串博志議員、広津素子議員も参加。

財政が逼迫する中で、無駄な歳出をカットすることは喫緊の課題です。併せて後世に負の遺産をこれ以上残さないためにも、増税に向けた議論をしなければいけない時期に来ていることも理解して頂かなければいけません。そのためには政治家がしっかりと説明することが何よりも大切だと思います。

※詳細は昨年十二月四日付の佐賀新聞に掲載されました。



優勝トロフィーの授与をさせて頂く

はがくれ車椅子バスケットボール大会

十一月二十六日、二十七日の両日、諸富町で「はがくれ車椅子バスケットボール大会」が開催されました。昨年もボランティアスタッフがとして参加させていただいた思い入れのある大会。本年は副実行委員長という大役を仰せつかりました。今年は、地元佐賀のHAGAKURE DANCERSが4位に入賞しました。多くのボランティアスタッフが支えての素晴らしい大会。私も副実行委員長という大役を拝命したのに、時間の制約もあって十分に働くことができず申し訳なく思いました。

立党五十年記念大会

十二月二十二日、新高輪プリンスホテルで自民党立党五十周年の記念大会が開催されました。全国から多くの党員が詰めかけられ、厳粛に、そして盛大に式が執り行われました。小泉総裁の挨拶、新憲法草案の発表、来賓のこ



挨拶、学生部によるアピールなどののち、新人議員による立党五十周年宣言が行われました。宣言を発表するのは杉村太蔵議員。杉村議員は、長い宣言文を暗記し、会場は大いに盛り上がりました。私も、壇上で杉村議員のすぐ後ろに立っていたため「テレビに映っていた」との声を多数頂きました。

自民党の良き部分は残し、改めるべき所は改め、新しい時代に適応した政党に生まれ変わらないうと未来はありませぬ。伝統とは変革の集積であること、を忘れずに、新しい波を起こし続けていきたいと思えます。

学童クラブを視察

十月二十五日十五時より、青少年問題に関する特別委員会の視察で板橋区・北野第二学童クラブに行きました。共働き世帯の増加などにより、学童クラブのニーズも増えてきています。この学校では、定員四十五名の第一、定員九十名の第二の二つの学童クラブが設けられています。先生方からも、現状や問題点などを聞き、短い時間でしたが、実態の一部を垣間見ることができました。



公明党の池坊保子先生・子供たちと一緒に

嘉瀬川石井樋地区整備事業完成記念式典



十二月四日、嘉瀬川石井樋地区歴史的水辺整備事業完成記念式典が行われました。式典後、佐賀市大和町の石井樋公園に場所を移し、他の国会議員さんと共にくす玉開披をさせていただきました。成富兵庫茂安が作った歴史の価値のある取水施設が再び整備されたことは、地域史を学ぶ意味でも、とても意義のあることだと思います。佐賀は、平野の大きさの割には大型河川が少なく、利水・治水の歴史は佐賀の歴史と言っても過言ではありません。より多くの方々に、見て頂ければと思います。

現在の所属について お知らせします

現在、衆議院および自由民主党において以下のとおり所属しています。

〈衆議院〉

●厚生労働委員会

厚生労働省の所管に関する事項を審議する委員会です。

少子高齢化時代を迎えた今、年金、医療、介護などの社会保障や、子育て支援、労働問題などまさに皆様方にとって関心の高い分野を審議します。

●青少年問題に関する特別委員会

青少年問題の総合的な対策を審議する委員会です。

青少年犯罪の増加など憂うべき社会現象にどのように対処すべきか、治安の悪化等に伴い子供の安全をどのように確保すべきかなどを審議します。

●沖縄及び北方問題に関する特別委員会

沖縄および北方問題に関する対策を検討する委員会です。

解決の糸口の見えない北方領土の返還や、基地問題で揺れる沖縄についての対策を審議します。

〈自民党〉

●組織本部 青年局 次長

●広報本部 出版局 次長

あったかラムチャウダー



TAKAMARO COOKING
たかまる
クッキング

7回目を迎えた「たかまるクッキング」。寒い冬に身体を温める、アサリを使ったスープをご紹介します。是非おためしください。



作業風景



材料 4人分

- 殻つきアサリ 約400g
- 玉ねぎ 2コ
- セロリ 1本
- にんじん 1/2本
- じゃがいも 2コ
- 白ワイン 100cc (0.5カップ)
- 水 400cc (2カップ)
- 牛乳 300cc (1.5カップ)
- 生クリーム 100cc (0.5カップ)
- 小麦粉 大さじ1.5
- コンソメキューブ 1コ
- パルメザンチーズ 大さじ3
- 塩 適量
- こしょう 少々
- ローリエ 1枚

作り方

- ①あさはらぎを洗いき、鍋に水と白ワイン、アサリを入れて火にかける。沸騰して鍋の口が開いたら、アサリを取り出す。スープにコンソメを溶かす。アサリは、身ははずす。
- ②野菜類はさいの目切りに。鍋に油をしき、玉ねぎ・にんじん・セロリを炒める。玉ねぎが透き通ったら小麦粉を加え、火を弱めてよく炒める。
- ③スープにローリエを加え、中火にかける。沸騰したら火を弱め、蓋をしながら10分ほど煮る。
- ④牛乳とジャガイモを加え、10分ほど煮る。
- ⑤アサリの身と生クリーム、パルメザンチーズを加え、さらに5分ほど煮る。塩、こしょうで味を調える。

おわりに

姉齒建築士らによる耐震偽装が大きな社会問題となつていきます。以前、マンションの企画・販売などの経験をしてきた私は、自民党のワーキングチームにも参加し、真相の究明と再発の防止にむけた提言を作る作業に関わっています。

私は、この問題には大きな二つの要因があると思います。一つは、検査機関がしっかりとした確認を行わず偽装を見抜けなかったこと。外部の検査機関といえども、しっかりとしたチェックを行わないと建築確認制度そのものが成り立ちません。

もう一つは、事業主によるコスト削減、工期圧縮の圧力の中で、ややもすると不正に走りやすい背景が業界内に生まれやすいこと。関係者のモラルの問題もありますが、不正をみんなでも抑制するような体制づくりも必要です。

「安全・安心」が社会生活を行う上での前提であることは言うまでもありませんが、その前提が今大きく崩れようとしていることに、多くの方が不安を覚えていらつしやいます。

まずは、建築における安全確保をどのようにすべきか。積極的に取り組みたいと思えます。

サポーター募集中です!!

皆様方のお支えがないと日々の活動ができません。今、たかまるサポーターズクラブの会員を募集しています。

年間2000円から(千円単位)受け付けております。サポーターの方には「たかまる通票」を贈呈いたします。このたび、振込用紙を作成しました。必要の方にはお送りしますのでお申し付け下さい。お知り合いの方にも是非お声かけ下さい。よろしくお願ひ致します。

振込口座

郵便振込 01700-2-76522

(振込時は当方負担)

※この口座は全職選挙法による個人献金しか受けることができません。企業からの献金につきましては、別途届出団体にて受けておりますので、福岡たかまる事務所にご一報いただければ存じます。

発行/福岡たかまる後援会

※いろんなご意見、ご案内を是非お寄せください。

〒840-0804 佐賀市神野東3丁目2番13号
TEL0952-30-0555
FAX0952-30-0700
e-mail takamaro@takamaro.jp

〒841-0052 熊本市宿町1436
TEL0942-82-3801
FAX0942-82-3345

福岡たかまるホームページ: www.takamaro.jp (毎日更新中)